

平成30年度定時会員総会 議案

【第1号議案】

平成30年度
事業報告（報告事項）
損益計算書〈正味財産増減計算書〉、
貸借対照表、財産目録（承認事項）
監査報告書（報告事項）
自平成30年1月1日 至 平成30年12月31日

【第2号議案】

平成31年度
事業計画、収支予算書（報告事項）
自平成31年1月1日 至 平成31年12月31日

※注記1

「会員（社員）総会参考書類」を本書は兼ねています。

※注記2

「平成30年度定時会員総会招集通知」が裏表紙にあります。

平成31年3月13日
公益社団法人北海道倶楽部

平成30年度定時会員総会 議案

【第1号議案】(●報告事項及び●承認事項)

平成30年度 事業報告、 正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録 監査報告書

自平成30年1月1日 至 平成30年12月31日

●報告事項

「平成30年度庶務事項報告（総会、理事会報告）」 . . . 1ページ

「平成30年度事業報告」 . . . 11ページ

「平成30年度 会員異動状況」 . . . 17ページ

●承認事項

「損益計算書（正味財産増減計算書）」 . . . 18ページ

「貸借対照表」 . . . 19ページ

「財産目録」 . . . 20ページ

「キャッシュフロー計算書」 . . . 21ページ

「計算書類に対する注記」 . . . 22ページ

●報告事項

「監査報告書」 . . . 23ページ

【第2号議案】(●報告事項)

平成31年度 事業計画、収支予算書

自平成31年1月1日 至 平成31年12月31日

●報告事項

「平成31年度事業計画書」 . . . 24ページ

「平成31年度収支予算書」 . . . 27ページ

(金額は原則円単位です。)

平成30年度庶務事項報告（総会、理事会報告）

（諸会議報告の要旨である。省略した事項、別紙等は正規の議事録に記載されている。）
平成30年1月1日から平成30年12月31日まで

種 別	概 要
<p>1. 総会 平成29年度定時会員総会 3月9日</p>	<p>「平成29年度 事業報告（報告事項）、損益計算書〈正味財産増減計算書〉・貸借対照表・財産目録（承認事項）」の件 議長は事務局長に説明を求めた。 事務局長は配付資料の確認の後、資料の1～22頁に基づき説明した。 議長は五十嵐紀男監事に監査報告を求めた。 監事は「平成29年度の事業・会計報告につき諸資料、帳票、帳簿などを詳細に調査した結果、適法かつ適正であること」、「理事の職務遂行についても適法かつ適正である」と報告した。 この議案につき質問、意見を求めたが、全員異議無しとの声により本議案は原案通り承認されたことを告げた。</p> <p>「平成30年度 事業計画、収支予算書（報告事項）」承認の件 議長は事務局長に説明を求めた。 事務局長は配布資料24～27頁に基づき説明した。 議長はこの議案につき質問、意見を求めた。全員異議無しとの声により本報告議案は原案通り承認されたことを告げた。</p> <p>「理事及び監事選任（選任決議事項）承認の件 議長は事務局長に説明を求めた。 事務局長は配布資料28頁に基づき説明した。 議長はこの議案につき質問、意見を求めた。全員異議無しとの声により本報告議案は原案通り承認されたことを告げた。</p> <p>議長から、全般にわたり意見を募った。（詳細省略） 以上により本日の全議案は原案のとおり決議され、審議は終了したので、午後1時30分過ぎ、議長は平成29年度定時会員総会の終了を告げた。 （於 永田町ほっかいどうスクエア2階会議室）</p>
<p>2. 理事会（評議員会） 2月15日</p> <p>各理事会では、代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況の報告が行われている。 書面理事会を除き、各理事会の前若しくは同時開催で同様の議案で理事陪席の上評議員会を開催している。</p>	<p>第1号議案 平成29年度事業報告及び決算等の承認の件（別冊「平成29年度定時会員総会 議案」参照） （1）事業報告書（2）事業報告書の附属書類（3）貸借対照表（4）損益計算書（正味財産増減計算書）（5）貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属書類（6）財産目録（7）監査報告書</p> <p>第2号議案 内閣総理大臣宛「事業報告等に係る提出書」提出についての決議の件</p> <p>第3号議案 平成29年度会員総会に係る件（定款第29条第1項第1号の事項） （別冊の「平成29年度定時会員総会 議案」、「総会招集通知」につき審議をお願いします。）</p> <p>第4号議案 会費未納会員の会員資格喪失者、会員入退会、会員数ほかの件 （1）会費未納（3年以上）会員の会員資格喪失者について（定款第11条第1項第1号による資格喪失者の報告）</p>

種 別	概 要
	<p>(2) 会員の入・退会 (登録会員の登録・抹消を含む)、会員推移</p> <p>第5号議案 その他</p> <p>(1) 新年交礼会実施結果について キャンペーン「北方領土返還」、「北海道新幹線早期実現」、「地域振興・ふるさと納税」をテーマに1月26日(金)18時 ホテルニューオータニ 麗の間 で多数の出席者のもと盛大にキャンペーン集会が行われました。</p> <p>(2) 本年度講演会については皆様のご意見を頂き部会で検討いたします。</p> <p>(3) 平成30年度寄附のお願いの件</p> <p>(4) 広報紙「北海道 "NOW"」(会報) 自治体紹介ページ今後の掲載スケジュールについて</p> <p>(5) 平成30年北方領土返還要求全国大会に参加しました。(2月7日、国立劇場・大劇場)</p> <p>(6) 4月からの事務局業務について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嘱託職員の雇用条件改定について ・企画、会報制作ほかの業務委託契約終了後の対応について <p style="text-align: right;">(於 北海道東京事務所 会議室)</p>
<p>3月9日 (臨時書面理事会)</p>	<p>第1号議案 本日の総会で選任された理事について、会長1名、副会長若干名、理事長1名、副理事長若干名及び常務理事1名を定める件 (定款第21条第2項、第29条第1項第4号)</p> <p>別表(「定款21条第2項にもとづき理事会の決議により定める理事の役職」)の通り定めることとする。任期は選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時会員総会の終結の時までとする。但し、再任を妨げない。</p> <p>選任された者は全員それぞれその就任(倶楽部役職欄標記)を承諾した。</p> <p>第2号議案 評議員、相談役、顧問及び参与を推薦する件 (定款第24条第2項、第25条第2項)</p> <p>別表(「定款25条第2項にもとづき理事会が推薦する相談役、顧問及び参与」及び「定款第24条第2項にもとづき理事会が推薦する評議員」)の通り定める。任期は選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時会員総会の終結の時までとする。但し、再任を妨げない。</p> <p>なお、登録会員を推薦するにあたっては所属する維持会員の意向を聴取の上、次回の理事会で推薦者を決定する。</p> <p>(理事長が委嘱後、本人からの就任承諾書の提出を以て選任が確定する。)</p> <p>第3号議案 連絡事項 (今後の理事会等の予定)</p>
<p>4月27日 (書面理事会)</p>	<p>第1号議案 役員就任の件</p> <p>理事、監事の重任、新任者については、就任承諾を戴き、登記完了後、内閣府に届けました。</p> <p>第2号議案 新入会員審査の件</p> <p>第3号議案 その他(報告承認事項)の件</p> <p>(1) 寄附金の状況(平成30年4月27日現在)</p>

種 別	概 要
	<p>① 29年実績 99人、3,094,000円 30年予算 3,094,000円</p> <p>② 応募98人、3,025,000円 入金者数70人、入金実績2,425,000円</p> <p>(2) キャンペーンの様況(平成30年4月26日現在)</p> <p>① ブラウンリボンバッジの様況 本年度頒布数・金額/同累計 234個・42,000円/ 40,632個・6,686,713円</p> <p>② 千島桜バッジの様況 本年度頒布数・金額/同累計 366個・61,500円/ 2,680個・517,670円</p> <p>③ 新幹線バッジの様況 本年度頒布数・金額/同累計 6個・1,500円/ 3,367個・560,658円</p> <p>④ ちぎれ千島に雲がとぶCDの様況 本年度頒布数・金額/同累計 0枚・0円/ 477個・381,600円</p> <p>(3) 講演会について</p> <p>(4) 今後の予定ほか</p>
6月21日	<p>第1号議案 倶楽部役員就任承諾、決定の件 3月9日の倶楽部総会終結時に全役員が任期終了となったことに伴い、総会、理事会で新しい役員を選任したが、本日付で別表の通りの就任書承諾書が得られている。</p> <p>第2号議案 役員交代に伴う担当見直し案の件</p> <p>第3号議案 平成29年度事業報告の件 3月の会員総会での理事等役員変更の届は完了した。平成29年度の実業報告等については若干の補正を求められたが完了した。</p> <p>第4号議案 交流の夕べの件</p> <p>(1) 日時:平成30年8月2日(木)18～20時(例年の8月4日は本年は休日のため変更)</p> <p>(2) 場所:銀座クラシックホール(東京都中央区銀座7-9-20 ライオン銀座七丁目ビル6F)</p> <p>(3) 会費:7,000円</p> <p>(4) 参加者:広く募集する、約100人の予定</p> <p>(5) テーマ:北海道倶楽部の下記キャンペーンを紹介、広報する。</p> <p>① 北海道新幹線早期実現推進「新幹線早期実現」バッジ キャンペーン</p> <p>② 北方領土返還運動推進「ブラウンリボン」バッジ、「千島桜」バッジ</p> <p>③ 地域貢献 本年も夕張支援のため、夕張メロン配布等の協力をしたい。(具体的な方法は事業部会で検討予定。)北海道「NOW」7月号の広報ページでも、夕張市の広報を行う。</p> <p>(6) 北海道関係者の交流に資する。</p> <p>(7) アトラクション(本年は8月4日「ビヤホールの日」恒例のアトラクションがないので検討予定)</p> <p>(8) 福引き抽選は協賛を募る。詳細は部会で検討する。</p> <p>第5号議案 「北海道ビジネスフォーラム」について(資料別紙)</p> <p>(1) 北海道知事高橋はるみ名で【北海道ビジネスフォーラム】(東京)の名義後援について(依頼)が送付されたので承諾書を送付した。事後承認を願います。</p> <p>(2) 北海道経済部が主管し、昨年までは名称を「ふるさと北海道応援フォー</p>

種 別	概 要
	<p>ラム」と称していたものである。昨年は定員 200 人だったが、本年は 150 人である。今回で第 5 回となる。</p> <p>(3) 北海道倶楽部のブースを出展予定。</p> <p>(4) 平成 30 年 7 月 23 日 15 時～18 時 20 分 ホテルメトロポリタンエドモント</p> <p>第 6 号議案 北海道フェア参加の件</p> <p>昨年同様代々木の北海道フェアに参加する。(詳細は部会で検討する。)</p> <p>参加内容：</p> <p>① 北海道情報の発信(倶楽部キャンペーンについての広報を主体とする。)</p> <p>② テント内にテーブルを設置しパネル、パンフレットの展示、バッジの展示・配布。</p> <p>③ 北方領土返還要求推進の署名活動(北海道道担当部局や主催団体との事前調整が必要)、昨年は 1,720 筆の署名をいただいた。</p> <p>④ 「北海道情報紙“北海道 NOW”別冊を代々木近辺に新聞折込配布」を昨年同様実施の予定。なお、本年は創立 70 周年記念の祝賀広告を掲載し、ふるさと会連合会の出店者の広報欄は設けない予定。</p> <p>第 7 号議案 創立 70 周年記念会員名簿発行について</p> <p>(1) 発行概要</p> <p>1) 1,100 部印刷 10 月 1 日発行</p> <p>2) 名簿の他、住んでみたい北海道の広報記事他を掲載し、名簿以外の公益面の内容を充実させる。</p> <p>3) 予算(以下の前回の収支に準じる)</p> <p>・製作費約 39 万円、郵送費等約 10 万円、広告料収入約 144 万円 なお、本年度から会計部門を法人会計で計上する。(公益情報を含んでいたのが公益事業会計で計上していたが内閣府から法人会計が望ましいとの指摘を受けていたため)</p> <p>(2) 広告の依頼</p> <p>戦後、新生北海道倶楽部創立から 70 周年にあたることから「創立 70 周年記念会員名簿発行」と銘打ち、今まで出稿いただいていた企業の広告も集めたい。関係先のご紹介をお願いしたい。</p> <p>第 8 号議案 新入会員審査、会員の状況の件</p> <p>第 9 号議案 その他(報告承認事項)の件</p> <p>(1) 寄附金の状況</p> <p>① 29 年実績 99 人、3,094,000 円 30 年予算 3,094,000 円</p> <p>② 6 月 12 日現在 応募 99 人、3,035,000 円 入金者数 95 人、入金実績 2,885,000 円</p> <p>(2) キャンペーン状況(平成 30 年 6 月 19 日現在)</p> <p>① ブラウンリボンバッジの状況</p> <p>本年度頒布数・金額/同累計 261 個・48,750 円/40,659 個・6,693,463 円</p> <p>② 千島桜バッジの状況</p> <p>本年度頒布数・金額/同累計・金額 389 個・67,250 円/2,703 個・523,420 円</p> <p>③ 新幹線バッジの状況</p>

種 別	概 要
	<p>本年度頒布数・金額／同累計・金額 6個・1,500円／3,367個・560,658円</p> <p>④ ちぎれ千島に雲がとぶCDの状況</p> <p>本年度頒布数・金額／同累計・金額 1枚・1,000円／478個・382,600円</p> <p>(3) 講演会について</p> <p>企画部会で検討をいただきますが、広くご意見を申し上げます。</p> <p>(4) 今後の事業予定ほか(以下の具体的対応については、今後部会で検討します。)</p> <p>① 6月15日に独立行政法人北方領土問題対策協会の啓発担当・渡辺憲司上席専門官他2人が来られ、間瀬評議員と本間事務局長で対応した。北方領土の啓発活動を企業対象に行いたい。協力願いたいとの申し入れがあった。北方領土返還運動は倶楽部の定款に載っている事業であるので、各部会で検討すると返答した。</p> <p>② 北方領土 ビザ無し交流</p> <p>今年は参加希望者がいませんでした。担当の企画部会と間瀬評議員会議長(元北対協理事長)と今後の対応を検討することとしたいと思います。対応についてご意見があればよろしく申し上げます。</p> <p>③ 交流の夕べ8月2日(木)18時 銀座七丁目ライオン</p> <p>④ 北方領土隣接地域(1市4町)交流は今後の検討予定。(根室振興局からの協力依頼はある。)</p> <p>⑤ 情報展示イベント、代々木北海道フェア参加について (10月5日(金)～10月8日(月・祭日)代々木公園イベントスペース 予定)</p> <p>⑥ 交流イベント10月19日(金)18時 明治記念館(予定) 例年通り、カボチャの先行手配をしておきたい。</p> <p>⑦ 北方領土返還要求中央アピール行進12月1日(土曜日・予定) (於 北海道東京事務所 会議室)</p>
<p>8月31日 (書面理事会)</p>	<p>第1号議案 評議員辞任、就任の件</p> <p>第2号議案 後援名義の使用承認の件(事後承認 添付資料参照) 「代々木北海道フェア」の後援名義である。従来通り承認したい。</p> <p>第3号議案 新入会員審査の件</p> <p>第4号議案 その他(報告、承認事項)の件</p> <p>(1) 寄附金の状況</p> <p>① 29年実績 99人、3,094,000円 30年予算 3,094,000円</p> <p>② 8月31日現在 応募99人3,035,000円入金者数97人入金実績 2,925,000円</p> <p>(2) キャンペーン of 状況(平成30年8月31日現在)</p> <p>① ブラウンリボンバッジの状況</p> <p>本年度頒布数・金額／同累計 307個・59,000円／40,705個・6,703,713円</p> <p>② 千島桜バッジの状況</p> <p>本年度頒布数／同累計・金額 449個・81,000円／2,763個・537,170円</p> <p>③ 新幹線バッジの状況</p> <p>本年度頒布数／同累計・金額 10個・2,500円／3,371個・561,658円</p> <p>④ ちぎれ千島に雲がとぶCDの状況</p>

種 別	概 要
	<p style="text-align: center;">本年度頒布数/同累計・金額 2枚・2,000円/479個・392,600円</p> <p>(3) 交流の夕べ開催について（収支等は次頁資料参照） 日時：8月2日（木）18時 場所：銀座七丁目ライオン 会費：夕張支援会費1万円（夕張メロン付き）通常会費7千円 次第：夕張から鈴木市長も来られ、返済も進み状況は好転しているが更なる支援をお願いしたいと述べた。 参加：125人 メロン発注総数：87個</p> <p>(4) 平成30年北海道ビジネスフォーラム後援の件（別紙開催結果概要参照） 6月理事会で承認頂いた倶楽部後援のフォーラム（7月23日）では松田会長が出席し、交流会の最初に挨拶を行った。 今回も倶楽部で取りまとめて参加申込をした。（25人）</p> <p>(5) 特別講演会開催について 7月17日の企画部会でサハリンの状況について北海道新聞の前ユジノサハリンスク特派員の則定隆史さんに講演をお願いする事となりました。</p> <p>(6) イベント、広報等の予定</p> <p>1) 情報展示イベント、代々木北海道フェア参加の件</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 日時：10月5日（金）～10月8日（月祝日） ② 場所：代々木公園イベントスペース ③ 展示等：ブラウンリボンバッジ、千島桜バッジ、新幹線早期実現バッジ頒布（有料） ④ 北方領土返還要求署名活動（北海道、内閣府） ⑤ NPO住んでみたい北海道 コーナー設置、配布物（昨年と同じ利尻昆布400個配布予定） ⑥ 独立行政法人北方領土対策協会が本年から何らかの形で参加の意向があり、協議中です。 ⑦ 詳細は今後検討する。 <p>2) 北海道NOW別冊10万部を新聞折込</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 日時：昨年同様に代々木公園周辺の朝日、読売、毎日購読者に折込配布する。10月5日（金 朝刊）で10万部一括配布。 ② 倶楽部のキャンペーンの記事の他、住んでみたい北海道から移住についての記事、根室振興局から北方領土の記事を掲載する。 ③ 今回創立70周年の御祝いの名刺広告を掲載する。 ④ 他の広告は、内閣府から北方領土、サッポロビール、住んでみたい北海道から広告の出稿がある。 <p>3) 創立70周年記念 平成30年度会員名簿</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 平成30年度会員名簿は10月1日に北海道"NOW"10月号別冊2として「スマートレター」を使って郵送します。 ② 北海道"NOW"10月号、同別冊1（代々木フェア版）及び10月19日の交流イベントの案内も同封します。 <p>4) 交流イベント</p>

種 別	概 要
	<p>① 10月19日金曜日18時 明治記念館で行います。</p> <p>② 詳細は事業部会、実行委員会で検討実施します。</p>
10月25日	<p>第1号議案 北海道フェア in 代々木出展報告の件</p> <p>代々木で開催された恒例の「北海道フェア in 代々木」は天候に恵まれ（前年比118%）482,256人の入場者でした。（前年は409,964人）</p> <p>今年も倶楽部は会場周辺の全国紙朝刊に北海道情報紙「北海道 `NOW、`」を11万部印刷し、新聞に折り込み、倶楽部キャンペーンの広報活動を行いました。（収支 印刷費402,800円、折込費480,654円、合計908,118円 予定広告料収入1,046,104円）</p> <p>当日の入場者に向けて倶楽部のブースを設け、北方領土返還キャンペーン、北海道新幹線キャンペーンなどを行いました。「北海道胆振東部地震」については、倶楽部が創設以来推進している「ふるさと納税による寄附」を垂れ幕等も使い呼びかけました。</p> <p>倶楽部のブースでは、キャンペーンバッジ（ブラウンリボンバッジ26個、千島桜バッジ35個、新幹線バッジ47個、合計108個27,000円）やCDの販売、さらに「利尻花折昆布」の無料配布（合計400個、残数は19日の交流イベントの手みやげ袋に入れた。費用は住んでみたい北海道推進会議の無償提供）を行い、盛り上げた。なお、配布の実施方法について次回からは事前に実行委員会を行い、統一して対応の予定です。</p> <p>今年も北海道北方領土対策本部が倶楽部のブース前に署名コーナーを設け、北方領土問題対策協会（着ぐるみ「エリカちゃん」などの派遣）や内閣府北方対策本部から応援が来て、北方領土問題を多くの入場者にアピールし、多数の署名（合計1,771筆（昨年1,720筆））が寄せられました。来年も、署名活動に協力の予定。関連の収支の詳細については請求書未達のため次回報告の予定。</p> <p>第2号議案 交流イベントの件</p> <p>(1) 本年の交流イベントは「明治記念館」で、10月19日（金）に開催しました。（次第の通り）、「地域活性化（ふるさと納税推進）」「北方領土返還」「新幹線早期実現」のキャンペーンを行いました。</p> <p>(2) 北海道胆振東部地震の被災地支援のため倶楽部が制度創設以来推進している「ふるさと納税」で直接被災地を支援するように呼びかけました。</p> <p>(3) ブース設置について</p> <p>① 「北方領土モノがたり」プロジェクトについては昨年に続き、北海道根室振興局が3人参加でブースを出展し、管内商品の紹介、景品の提供などを行い北方領土隣接地域の振興のためのPRを行いました。</p> <p>② PMF（パンフィック・ミュージック・フェスティバル）は、20世紀を代表する指揮者であり、作曲家であった、故レナード・バーンスタインが札幌にて創設し、1990年から29回開催されている国際教育音楽祭です。これまでに76カ国・地域から延べ約3500人の若手音楽家を輩出しています。今回4人の若手演奏家による演奏を披露し、ブースを設け、景品（PMFオーケストラ公演・ペア招待券）の提供などを行い、支援を呼びかけました。倶楽部も地域振興・活性</p>

種 別	概 要
	<p>化の観点から手土産袋にパンフレットを入れるなど PMF への支援をお願いしました。</p> <p>③ 創立70周年記念永年会員表彰を行いました。対象は30年以上で25人でした。(内当日の参加者は4人)</p> <p>④ 参加者は約300人(スタッフ含む)でした。収支は次回報告しますが、70万円程度の赤字が想定されます。</p> <p>第3号議案 創立70周年記念会員名簿発行について</p> <p>(1) 発行概要</p> <p>1) 1,100部印刷 10月1日発行</p> <p>2) 名簿の他、住んでみたい北海道の広報記事他を掲載し、名簿以外の公益面の内容を充実させました。</p> <p>3) 収支：製作費400,080円、郵送費等約10万円、広告料収入181万円</p> <p>(2) 広告の依頼</p> <p>戦後、新生北海道倶楽部創立から70周年にあたることから「創立70周年記念会員名簿発行」と銘打ち、今まで出稿いただいていた企業企業の広告も集めました。</p> <p>第4号議案 新入会員審査、会員の状況の件</p> <p>第5号議案 その他(報告承認事項)の件</p> <p>(1) 北海道“NOW”別冊第729号の発行配布(11万部印刷 10月1日発行 第1号議案参照)</p> <p>例年代々木フェアに合わせて代々木を中心に全国紙の折込配布をしていますが、本年も倶楽部のキャンペーンをテーマに発行配布しました。また、北海道胆振東部地震被災地に「ふるさと納税」での支援の呼びかけと北海道倶楽部創立70周年(記念広告)記事を一面に掲載しました。</p> <p>(2) 寄附金の状況</p> <p>① 29年実績 99人、3,094,000円 30年予算 3,094,000円</p> <p>② 10月22日現在 応募99人、3,035,000円 入金者数97人、入金実績 2,925,000円</p> <p>③ おかげさまで、予算に近い寄附金額となっております。例年通り、会員外の寄付者は1年間協賛会員として、会報・各種案内を送ります。また、10万円以上の寄付者には、交流の夕べ、交流イベント、新年交礼会のご無料入場券を発行します。</p> <p>(3) キャンペーン(平成30年10月22日現在)</p> <p>① ブラウンリボンバッジの状況</p> <p>本年度頒布数・金額/同累計 397個・81,250円/40,795個・6,725,963円</p> <p>② 千島桜バッジの状況</p> <p>本年度頒布数/同累計・金額 507個・95,500円/2,821個・551,670円</p> <p>③ 新幹線バッジの状況</p> <p>本年度頒布数/同累計・金額 67個・16,750円/3,428個・575,908円</p> <p>④ ちぎれ千島に雲がとぶCDの状況</p> <p>本年度頒布数/同累計・金額 2枚・2,000円/479個・392,600円</p> <p>(4) 特別講演会について</p>

種 別	概 要
	<p>7月17日の企画部会でサハリンの状況について北海道新聞の前ユジノサハリンスク特派員の則定隆史さんに講演をお願いする事としています。日程は11月21日(水曜日)14時以降(時間未定) 場所は五十嵐評議員会副議長(企画部会長)のご厚意で共同通信会館内の5階会議室(港区虎ノ門2-2-5)で調整しています。</p> <p>(5) 平成31年新年交礼会の件 平成31年新年交礼会は下記日時、場所で昨年に準じ、会員以外の一 般の参加者にも広く呼びかけ北海道のためのキャンペーン等の年初事業 として開催します。詳細は事業部会で検討の上実施します。 予定 平成31年1月25日(金)18時 ホテルニューオータニ 麗の間</p> <p>(6) 今後の事業予定ほか (於 北海道東京事務所 会議室)</p>
12月20日	<p>第1号議案 平成31年度事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みの件(別紙参照)</p> <p>定款第50条の定めにより、標記の件については、毎事業年度開始前までに理事長が作成し、理事会の承認を得て翌事業年度開始前までに行政庁に提出し、会員総会に報告するとされています。</p> <p>(1) 事業計画書について 別紙の通り、平成31年の事業計画を作成しました。基本的に平成30年度事業計画書に準じ作成しました。以下について特記します。</p> <p>1) 昨年同様に、広報活動の項で、"北海道NOW"の道内各自治体の紹介ページ(ふるさと納税なども紹介)を継続するとともに、これらを収録した小冊子「北海道の市町村をご紹介します」のHP版等の発行(本年度実施未了。)を引き続き企画します。</p> <p>(2) 収支予算書について 平成30年の仮決算(「別紙 平成30年仮決算」)を踏まえ、平成31年事業計画を遂行するため別紙の通り、平成31年度収支予算を作成しました。</p> <p>(3) 資金調達及び設備投資の見込み</p> <p>第2号議案 平成30年事業報告等の作成、日程の方針について</p> <p>(1) 平成30年度「事業報告」等は昨年に準じて作成し、その後監査を受け、2月理事会(21日予定)で承認後「定時会員総会招集通知、議案」を印刷発送し(総会の2週間前)、3月の定時会員総会で報告・承認を得ることとします。総会は日程調整の上、倶楽部2階の会議室を借用し開催します。</p> <p>(2) なお、3月の平成30年度定時会員総会は役員(理事・監事)改選期ではありませんが、定時会員総会、事業報告終了後の臨時書面理事会で会長、理事長他の選任、推薦などが行われると想定されます。</p> <p>第3号議案 イベントの開催及び参加について</p> <p>(1) 10月理事会で報告の通り本年の交流イベントは「明治記念館」で、10月19日(金)18時に開催した。(収支は別表の通り、赤字約92万円)</p>

種 別	概 要
	<p>(2) 特別講演会の開催</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 演題：「サハリンから見た、日ロ関係と北方領土問題」 2) 講師：則定隆史 先生（北海道新聞 前ユジノサハリンスク特派員、東京報道センター記者） 3) 日時、場所：2018年11月21日 共同通信会館5階 会議室 4) 参加者：約50人（松田会長、岡村理事長をはじめ副理事長や評議員など役員も多く参加。） 5) 評議員会副議長、企画部会長 五十嵐正剛 北海道新聞東京支社長から講演会の趣旨の紹介のあとにご講演。（五十嵐さんのご厚意で、会議室を無償で使用させていただきました。） 6) 2島返還の問題など時期を得た講演に参加者から「国民的議論や意見集約などが必要」など種々の意見が出ました。 <p>(3) 「北方領土返還要求中央アピール行進」参加報告 本年12月1日の標記行動（参加者500人）に岡村理事長、佐藤副理事長、間瀬評議員会議長以下（総計7名）で参加しました。冒頭の根室市の石垣雅敏市長の開会の辞で、倶楽部名をも挙げ参加に感謝するとのメッセージがあった。本年は対ロ交渉の状況に鑑み、抑え気味の行進でした。</p> <p>(4) 「北方領土返還要求全国大会」に参加予定 恒例の標記全国大会（平成31年2月7日）に参加します。</p> <p>(5) 平成31年新年交礼会開催予定</p> <p>第4号議案 新入会員審査の件、会員数について</p> <p>第5号議案 その他報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 寄附金の状況 <ol style="list-style-type: none"> ① 30年予算 309.4万円 ② 12月17日現在実績 292.5万円、97人 ③ 平成31年度寄附金のお願い・募集発送は昨年同様3月開始の予定。 ④ 税額控除の適用となる。 (2) 会費の入金状況 <ol style="list-style-type: none"> ① 30年予算809万円（内訳正会員235.5万円 維持会員573万円） ② 12月17日現在実績 816万円（内訳正会員252万円 維持会員564万円） ③ 平成31年度会費（1月～12月分）の請求は4月の予定。 (3) ブラウンリボンバッジの状況 本年度（12/17現在）495個、累計40,893個 (4) 千島桜バッジの状況 本年度（12/17現在）567個、累計2,881個 (5) 北海道新幹線バッジの状況 本年度（12/17現在）67個、累計3,428個 (6) ちぎれ千島に雲がとぶ（CD）の状況 本年度（12/17現在）2枚 累計479枚 <p style="text-align: right;">（於 北海道東京事務所 会議室）</p>

種 別	概 要
<p>1. キャンペーン推進のための事業 (1) 新年交礼会 1月26日</p>	<p>1月26日(金) 18時 ホテルニューオータニ「麗の間」会費1万円 約110名の参加で、キャンペーン「北方領土返還」「北海道新幹線早期実現」「地域振興・ふるさと納税」をテーマに新年交礼会を開催した。(次第、写真及び会報記事参照)</p>  <div data-bbox="906 152 1465 268" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>公益社団法人北海道倶楽部 We Love Hokkaido 平成30年新年交礼会</p> </div> <div data-bbox="906 280 1465 689" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「ちぎれ千島に雲が飛ぶ(森繁久弥)」の後 1. 開会の辞 ~キャンペーンについて 北海道倶楽部理事長 岡村 進</p> <p>2. 来賓祝辞 国土交通省 北海道局長 北海道 知事 田村 秀夫 様 内閣官房 内閣審議官(アイヌ総合政策室長) 高橋 はるみ 様 平井 裕秀 様</p> <p>3. 来賓ほかのご紹介(敬称略) 3. 来賓ほかのご紹介(敬称略) その場でお声を挙げて下さい。 政党・国会議員(および事務所の代理の方) 衆議院議員 石川 香織 衆議院議員 伊東 良孝 衆議院議員 稲津 久 新党大地 代表 鈴木 宗男 参議院議員 鉢呂 吉雄 国土交通省 北海道局長 田村 秀夫 北海道 北海道知事 高橋 はるみ 北海道 東京事務所副所長 田中 浩之 帯広市 東京事務所長 井上 猛 札幌市 東京事務所長 調佐 寿彦 内閣官房 内閣審議官(アイヌ総合政策室長) 平井 裕秀</p> <p>4. 乾杯~ご挨拶 北海道倶楽部会長 松田 昌士</p> <p>5. 懇談 6:30 積極的な交流(名刺交換など)をお願いします。</p> <p>6. 閉会(流れ解散) 8:00</p> <p>平成30年1月26日(金) 午後6時~8時 会場 ホテルニューオータニ「麗の間」</p> <div data-bbox="906 728 1465 907" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>We Love Hokkaido 地域活性化 北方領土返還・ふるさと納税・北海道新幹線早期実現 キャンペーン 北海道 早期実現 新幹線 ブラウンリボンバッジ 北方領土返還 千島桜 シンボルバッジ 北方領土返還 地域活性化 ふるさと納税</p> </div> </div>
<p>(2) 平成30年北方領土返還要求全国大会 参加 2月7日</p>	<p>当倶楽部も一員となっている大会実行委員会の主催により2月7日の北方領土の日に東京・千代田区の国立劇場で安倍総理を迎えて元島民代表や全国の返還要求運動団体代表者ら1900人が参加して平成30年北方領土返還要求全国大会が開催され、倶楽部からも8名の会員が参加した。</p>  <div data-bbox="1082 1205 1422 1648" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>平成30年北方領土返還要求全国大会 とき 平成30年2月7日 ところ 国立劇場 大劇場 主催 / 北方領土返還要求全国大会実行委員会</p> </div>
<p>(3) 平成30年度北海道ビジネスフォーラム 協賛 7月23日</p>	<p>道などが主催する「平成30年度北海道ビジネスフォーラム」(倶楽部協賛)が7月23日、東京・飯田橋の「ホテルメトロポリタンエドモント」で開かれ、約200人の参加者が出席した。 第1部のセミナーの企業経営者等からの講演では、株式会社ラ・テールの細田専務取締役の「美瑛発 新しい食ブランドづくりへの挑戦」、石屋製菓株式会社の石水代表取締役の「白い恋人 奇跡の復活物語」、道からは倉本北海道経済部長の「北海道のビジネス環境の魅力と可能性」の講演が行われた。 第2部の交流会では松田会長が挨拶を行った。立食形式で北海道ならではの</p>

種 別	概 要
	<p>の食材を楽しみながら、各自治体のブースでは特産品のPRが行われ、大いに盛り上がった。</p>  <div data-bbox="1069 201 1452 683" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <h3 style="text-align: center; background-color: green; color: white; margin: 0;">北海道ビジネスフォーラム</h3> <p>日時 2018. 7. 23 (月) 第一部セミナー 18:00～ 第二部交流会 17:00～</p> <p>場所 帯広市 帯広回廊リサーチビル3F 秋田県立帯広高等学校 秋田県庁 秋田県立帯広高等学校 秋田県庁</p> <p>定員 150名 (秋田県内企業、人財確保に たいしての開催です)</p> <p>北海道では、北海道への投資に意欲のある企業の方々や、道内進出企業の方々、本道にゆかりのある企業人の方々と対象にビジネスフィールドとしての北海道の魅力を伝えるフォーラムを開催いたします。 当日は、市町村や大学のPRブースが出展する交流会も開催いたしますので、皆様のお越しをお待ちしております。</p> <p>第一部セミナー</p> <ol style="list-style-type: none"> 企業経営者等からの講演 ◆株式会社ラ・テール 専務取締役 細田 俊二 氏 ◆石屋製菓株式会社 代表取締役社長 石水 創 氏 北海道のビジネス環境 <p>第二部交流会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆北海道ならではの食材を楽しみながらの交流会 ◆北海道内自治体ブース出展 <p>◆お申し込みは7月13日(木)までに事務局までメール又は「FAXにてお申し込みください。」 2018年は北海道150年 Hokkaido's 150th Anniversary</p> </div>
<p>(4) 交流の夕べ 8月2日</p>	<p>北海道倶楽部主催の「第22回交流の夕べ」が8月2日夜、東京・銀座で開かれた。(次第、写真参照)</p> <p>交流の夕べは財政再生中の夕張市支援も目的。倶楽部会員、会員以外を合わせ約120人が参加。開会挨拶では、川村副会長が倶楽部の進めるキャンペーンの現状などを話した。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①北海道新幹線早期実現推進「新幹線早期実現」バッジ ②北方領土返還運動推進「ブラウンリボン」「千島桜」バッジ ③夕張支援などへの地域貢献 <p>続いて、国土交通省の和泉晶裕北海道局長、近藤晃司北海道東京事務所長が祝辞を述べた。続いて鈴木直道夕張市長が、引き続き倶楽部の協力を訴えた。懇親会では参加者らが交流。アトラクションではヴァイオリニストの清野百香さんが「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」などを演奏。抽選会も行われ、会場を盛り上げた。</p> <div data-bbox="989 716 1452 1321" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <h3 style="text-align: center;">第22回公益社団法人北海道倶楽部交流の夕べ</h3> <p style="text-align: center;">平成30年8月2日(木) 銀座クラシックホール</p> <p>次 第 (開始 18時00分)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会の辞 川村 隆 (副会長) 2. 祝 辞 和泉 晶裕 様 (国土交通省 北海道局長) 近藤 晃司 様 (北海道東京事務所 所長) 3. ご来賓、国会議員はか ご紹介 (名簿) 印記載の通り) (敬省略) 4. 夕張からのお願い 昨年来の「新入正会員」および「新入維持会員所属登録会員の いづれも出席者 (名簿) 印記載の通り、入会手続き中は) 5. 夕張からのお願い 鈴木 直道 様 (夕張市長) 6. 主催者挨拶および乾杯 (18時30分) 松田 昌士 (会長) (副会長) 大久保尚武 川村 隆 村上 隆男 (発声) (副理事長) 佐藤 育男 鈴木 秀一 本間 修 (監事) 五十嵐 紀男 龍川 照夫 7. 懇 談 (名別交換を積極的に行って頂きますようお願いいたします。) 8. アトラクション 清野 百香 (ヴァイオリニスト「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」他) 9. 抽選会 (19時) 栗本 利郎 (評議員会副議長・事業部会長) 10. 中締め (20時) 鈴木 秀一 (副理事長) <p style="text-align: center; color: red; font-weight: bold;">夕張市に支援を!!</p> <p style="text-align: center; color: green; font-weight: bold;">We Love Hokkaido</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">北方領土返還・地域活性化 ふるさと納税・北海道新幹線早期実現 キャンペーン</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>北海道 新幹線 早期実現</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ブラウ ンリボン 北方領土返還</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>千島桜 シンボル 北方領土返還</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>地域活性化 ふるさと納税</p> </div> </div> </div> 
<p>(5) 北海道フェアに出展 10月5日～8日</p>	<p>道内の「秋の味覚」を満載した「第30回北海道フェア in 代々木」(実行委主催、北海道倶楽部など後援)が、10月5日から8日まで東京・渋谷区の代々木公園で開かれた。天候に恵まれ、4日間の来場者数は去年より多い約48万2200人だった。</p> <p>倶楽部はキャンペーンなどをPRするため、「北海道NOW」別冊を11万部作成し、新聞折込で近隣住民に配布した。今回の紙面は、倶楽部のキャンペーン、根室振興局、「NPO法人住んでみたい北海道推進会議」をPRし、また「平</p>

種 別	概 要
	<p>成 30 年北海道胆振東部地震」については、ふるさと納税で被災自治体に直接支援するよう呼びかけた。</p> <p>倶楽部のブースでは、北方領土返還キャンペーン、北海道新幹線早期実現キャンペーンなどを行い、キャンペーンバッジや CD の販売、さらに礼文島産「利尻花折昆布」の無料配布を行い、盛り上げた。また、今年も北海道北方領土対策本部が倶楽部のブース前に署名コーナーを設け、北方領土問題対策協会や内閣府北方対策本部から応援が来て、北方領土問題を多くの入場者にアピールし、多数の署名(合計 1,771 筆)が寄せられた。</p>
<p>(6) 第 55 回交流イベント</p> <p>10 月 19 日 (旧道産子の会)</p>	<p>北海道倶楽部が取り組む「北方領土返還促進」などキャンペーンの推進を目的とした、「第 55 回交流イベント」が 10 月 19 日夜、会員、会員以外も含め約 300 人が参加して東京・港区の明治記念館で開かれた。</p> <p>岡村進理事長は開会の辞で、「北海道胆振東部地震の被災地へのふるさと納税を」と訴えた。続いてブース出展している根室振興局が「北方領土モノがたり」について PR し、パシフィック・ミュージック・フェスティバル (PMF) の林常務理事が PMF への支援を呼びかけた。PMF の若手演奏家がイベント開始前と乾杯後のアトラクションで演奏し、参加者を魅了した。また、倶楽部創立 70 周年記念事業として、継続 30 年以上の永年会員 25 名を表彰し、当日の参加永年会員 4 名に表彰状を贈呈した。</p> <p>懇親会では恒例の福引抽選会や参加者には帯広農業高校産のカボチャなどのお土産もありイベントを盛り上げた。御協賛社は 64 社に上った。</p>
<p>(7) 北方領土返還要求中央アピール行進参加</p> <p>12 月 1 日</p>	<p>根室管内 5 市町でつくる「北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会」(北隣協)の主催。1945 年に当時の根室町長が領土返還を陳情したことにちなんだ「返還要求運動原点の日」の 12 月 1 日に、毎年開催しており今年で 13 回目となった。今年の実行には、根室管内出身者をはじめ、各都道</p>



平成 30 年 10 月 19 日
北海道胆振東部地震で被災した自治体へふるさと納税を呼びかける「ふるさと納税」の推進を目的とした「第 55 回交流イベント」が 10 月 19 日夜、会員、会員以外も含め約 300 人が参加して東京・港区の明治記念館で開かれた。

150
We Love Hokkaido
創立 70 周年記念
第 55 回交流イベント 次第

一、開会の辞 (倶楽部) キャンペーン・ブースなどを紹介
倶楽部理事長 岡村 進

二、北方領土モノがたり
北海道根室振興局地域創生部 部長 板垣 臣昭様
パシフィック・ミュージック・フェスティバル (PMF)
(公財) PMF 編集委員会 常務理事 林 泰男様

三、国土交通省ご挨拶
大臣官房審議官 後藤 貞二様

四、北海道ご挨拶
副知事 辻 泰弘様

五、政党、国会議員、国土交通省、北海道、市町村、官庁関係者ほかご紹介
創生 70 周年記念 永年会員表彰 松田 昌士
倶楽部会長挨拶 松田 昌士


六、乾杯 (祝詞) 根室管内 5 市町でつくる「北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会」(北隣協)の主催。1945 年に当時の根室町長が領土返還を陳情したことにちなんだ「返還要求運動原点の日」の 12 月 1 日に、毎年開催しており今年で 13 回目となった。今年の実行には、根室管内出身者をはじめ、各都道

七、懇親会 (18 時 30 分) ・ PMF 演奏 (18 時 40 分)

八、福引抽選 (19 時 一部・二部)

九、散会 (20 時)



種 別	概 要
	<p>府県の返還運動関係者ら約500人が参加した。参加者らは日本橋を出発し約1.7kmをデモ行進。北海道倶楽部からも岡村進理事長、佐藤育男副理事長、本間修事務局長ら8人も参加した。</p> 
<p>2. キャンペーン (1) ふるさと納税・地域振興等キャンペーン</p>	<p>1) 北海道 "NOW" (情報紙・会報) に自治体紹介 平成28年3月号から北海道と協議し1号あたり2自治体の紹介を掲載しているが、今年度は胆振管内、石狩管内、空知管内を順次掲載した。</p> <p>2) 夕張市振興へ協力 8月の交流の夕べで夕張振興を訴え、メロンの販売や夕張へのふるさと納税をお願いした。</p> <p>3) 10月の代々木フェア配布の北海道 "NOW" 別冊号でNPO法人住んでみたい北海道推進会議と共に記事掲載など地域振興を目的とする広報活動を行った。</p> <p>4) 根室振興局管内(北方領土隣接地域)の振興に協力 10月の交流イベントに北海道根室振興局がブースを設置、根室地域への訪問客拡大の観光PRと連動した北方領土問題の啓発活動を実施し、福引抽選会に地元の特産品を協賛するなど根室地域の振興の活動を行った。</p>
<p>(2) 北方領土返還推進 「ブラウンリボンバッジ」 「千島桜バッジ」キャンペーン</p>	<p>1) ブラウンリボンバッジについて 北方領土問題の早期解決実現のためには、政府の外交交渉と並行し、それを後押しする関係者の熱意と実行力が不可欠で、返還運動に関心を持つ方々の応援団を増やすためには、底辺を拡大し、その輪をさらに広げることが必要である。そのために、「日常会話に登場する返還運動」へと転換する必要がある、それを可能にするために、話題のきっかけとなる「きっかけグッズ」の頒布活動をキャンペーン事業として推進するものである。 ブラウンリボンバッジ配布数等は下記の通りである。(配布開始2010年1月) 配布バッジ数累計 40,897個(無料分を含む)(うち本年度配布499個) 収入総額6,747,213円(発注バッジ総数38,577個、発注総額3,855,941円)</p> <p>2) 千島桜バッジについて 「シンボルの花」 北方領土返還要求運動の新たな展開を図るため、返還要求運動の統一的なシンボルとして、誰もが親しみやすく身近に感じる「花」を選び、北方領土啓発資材等に「花」をモチーフにしたイラストを使用して、北方領土問題の一層の啓発を図るとともに世論の結集に務めることを目的に広く道内から公募された。倶楽部は道からの呼びかけにより2013年9月5日より千島桜バッジの頒布を開始した。 千島桜バッジ配布数等は下記の通りである。(配布開始2013年9月) 配布バッジ数累計 2,885個(無料分を含む)(うち本年度配布571個) 収入総額106,750円(発注バッジ総数4000個、発注総額304,426円)</p>

種 別	概 要
	<p>3) 「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」の CD 配布 北方 4 島の思いを、故森繁久彌さんが作詞し歌った上記 CD を、北方領土返還運動に役立ててくださいという、次男の建さんのご厚意で有料配布している。 (送料込み千円) 累計 479 枚、本年度 2 枚 (無料分を含む) 累計収入金額 392,600 円 本年度収入金額 2,000 円</p>
<p>(3) 北海道新幹線早期実現「新幹線バッジ」キャンペーン</p>	<p>1) 北海道新幹線早期実現推進の意識を高めるための早期実現「新幹線」バッジを実費で頒布した。</p> <p>2) 趣旨：北海道新幹線をより早期に実現するためには、「日常会話に登場する北海道新幹線早期実現推進運動」をする必要があり、それを可能にするために、話題のきっかけとなる「きっかけグッズ」の頒布活動を事業として推進するものである。</p> <p>3) 早期実現「新幹線」バッジについて 絵柄で北海道と新幹線を、文字で北海道と新幹線への想いを表現した。25mm サイズのピンバッジである。色は北海道新幹線のイメージ緑と、情熱・熱意を表す赤を配色した。北海道新幹線早期実現のため、話題の「きっかけ」グッズとなれば幸いである。交流事業、メディア事業などを活用し全国に配布した。バッジ配布数等は下記の通りである。(配布開始 2010 年 8 月) 配布バッジ数累計 3,428 個 (無料分を含む) (うち本年度配布 67 個) 累計収入総額 575,908 円 (発注バッジ総数 6,000 個、金額 675,675 円) (北海道新幹線 (新青森―新函館北斗間) は、平成 28 年 3 月 26 日に開業。札幌延伸は平成 24 年 6 月工事実施計画が認可され、2030 年度末開業予定。)</p>
<p>3. キャンペーン推進のための調査研究事業</p> <p>特別講演会</p>	<p>北海道倶楽部主催の講演会が 11 月 21 日、東京・虎の門の共同通信会館で会員外を含め約 50 人の聴衆を集めて開かれ、北海道新聞・前ユジノサハリンスク (ロシア・サハリン州) 特派員の則定隆史さんが「サハリンから見た北方領土問題と日ロ関係」と題して講演した。則定さんは最近の平和条約交渉を加速させる動きを巡り、「(2 島返還が決まったような言われ方をするが) ロシア側は両島をどちらの主権下に置くか、などは書かれていないと主張している。2 島返還ですらハードルは高い」と厳しい見方を強調した。</p>
<p>4. キャンペーン推進のためのメディア事業</p> <p>(1) 北海道情報紙「北海道 "NOW"」の配布</p>	<p>本年度もメディア事業は、北海道情報の北海道外への広報活動を志向した。第 7 2 1 号から第 7 3 1 号まで発行 (毎月 1 日、ただし 2 月 1 日号は休刊) 会員以外への会報の配布も積極的におこなった。(ふるさと会、北海道情報ラックなど)</p>



種 別	概 要
(2) 「北海道 "NOW"」増刊（別冊）（カラー版）の配布	<p>広報紙「北海道 "NOW"」（別冊）の発行配布は公益事業として、会員外の読者層を狙った記事を集め、配布対象を広げ配布することを目指すものである。</p> <p>別冊 10 号目（第 7 2 9 号別冊 10 月 1 日）の発行 北海道情報（キャンペーン等）の発信と北海道フェアの告知を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 1 万部印刷し、代々木沿線に新聞（全国紙 3 紙）の折り込み配布をした。 ・ 北海道フェア in 代々木会場内北海道倶楽部のブースで配布した。 ・ 北海道ふるさと会連合会の各会にても配布 ・ 北方領土隣接地域の特集記事掲載協力を受けた北海道根室振興局に送り配布した。
(3) 北海道情報ラック設置	<p>2 3 カ所（レストラン、店舗等）設置 北海道関連のパンフレット（「北海道 "NOW"」の紹介頁の市町村などのもの） 北海道情報紙「北海道 "NOW"」などを毎月送付</p>
(4) 倶楽部ホームページ対応	<p>倶楽部の対外的広報のため、内容の更新に務めた。 イベント等の参加申込、終了報告、その他報告事項など更新を行った。</p>
5. 賛同・後援名義の付与	<ol style="list-style-type: none"> 1) 北海道 1 5 0 年事業への協力 「北海道 150 年事業実行委員会」松田会長が昨年 1 月 1 日付けで理事に就任。 北海道情報紙「北海道 "NOW"」に関連する広報記事掲載。 2) 「公益財団法人パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会」 岡村理事長が顧問に就任。交流イベントで賛助演奏披露頂く。 3) ふるさと会連合会「第 24 回産直フェア」（北海道フェア） 4) 平成 30 年度「北海道ビジネスフォーラム」 5) 北海道が推進する「北海道・ロシア地域間協力チーム」に参加（情報収集） <p style="text-align: right;">以上</p>

平成30年度 会員異動状況

(平成30年12月末現在)

単位		平成 29 年度 末	内 容			平成 30 年度 末
			増	減	差引	
維 持 会 員	社数 (社)	125	3	4	△ 1	124
	口数 (口)	190	3	3	0	190
	登録 会員 数 (名)	251	55	55	0	251
正会員数 (名)		176	15	21	△ 6	170
個人会員数 合計 (名)		427	70	76	△ 6	421

損益計算書（正味財産増減計算書）

損益計算書（正味財産増減計算書 区分経理内訳）

平成30年1月1日～平成30年12月31日

(A)公益：法人配賦割合 50% 50%

(B)公益：法人配賦割合 60% 40%

記載なしは個別に配賦

		平成30年決算			平成30/29年度増減	
		公益事業会計	法人会計	合計	前年度決算 平成29年12月31日	決算増減 (平成30年—平成29年)
・会費収入は法人会計に50%配賦した。(会費規程第6条) ・給料手当、法定福利費、退職給付繰入額は従事割合(40%)により、法人会計に配賦した。 ・イベント会場に支払う飲食・会場費及びイベント会費等関連収入は40%を法人会計に配賦した。 ・通信費の内、電話及びインターネット費用は使用割合(40%)により、法人会計に配賦した。他は個別に配賦した。 ・賃借料は使用割合(40%)により、法人会計に配賦した。 ・(A)の項目は公益事業と法人会計の配賦割合は50%/50%とし、(B)の項目の公益事業と法人会計の配賦割合は60%/40%とし、記載の無い項目は個別に配賦したものである。						
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益[収入]						
経常収益 (収入)	入会金(A)	52,500	52,500	105,000	40,000	65,000
	正会員会費収入(A)	1,260,000	1,260,000	2,520,000	2,370,000	150,000
	維持会員会費収入(A)	2,820,000	2,820,000	5,640,000	5,640,000	0
	広告収入	2,219,104	1,824,000	4,043,104	1,906,104	2,137,000
	交流、キャンペーン等収入	2,995,163	1,903,200	4,898,363	5,021,855	△ 123,492
	・交流、キャンペーン等収入(B)	2,854,800	1,903,200	4,758,000		
	・交流、キャンペーン等収入	140,363		140,363		
	寄付・協賛金	2,925,000		2,925,000	3,094,000	△ 169,000
	受取利息		82	82	91	△ 9
	雑収入		24,215	24,215	21,653	2,562
経常収入合計(収入高合計)		12,271,767	7,883,997	20,155,764	18,093,703	2,062,061
経常費用 (事業費・管理費)	(2) 経常費用[事業費・管理費]					
	給料手当(B)	3,773,881	2,515,921	6,289,802	6,388,335	△ 98,533
	諸謝金	110,000		110,000		110,000
	法定福利費(B)	277,727	185,151	462,878	477,867	△ 14,989
	退職給付繰入額(B)	45,000	30,000	75,000	75,000	0
	外注費	2,998,660	523,580	3,522,240	2,836,860	685,380
	荷造運賃	189,095		189,095	218,677	△ 29,582
	広告宣伝費	1,006,862		1,006,862	1,006,862	0
	会議費	55,337	68,186	123,523	113,344	10,179
	旅費交通費	52,610	3,310	55,920	67,290	△ 11,370
	通信費	890,571	526,386	1,416,957	1,237,694	179,263
	・通信費(B)	126,250	84,166	210,416		
	・通信費	764,321	442,220	1,206,541		
	会合費	3,326,266	1,771,589	5,097,855	4,935,185	162,670
	・会合費(B)	2,642,384	1,761,589	4,403,973		
	・会合費	683,882	10,000	693,882		
	消耗品費	193,851	159,528	353,379	446,460	△ 93,081
新聞図書費	105,888		105,888	105,888	0	
諸会費				5,000	△ 5,000	
賃借料(B)	80,065	53,376	133,441	146,418	△ 12,977	
雑費	227,145	140,674	367,819	445,775	△ 77,956	
経常費用計(事業費・管理費計)		13,332,958	5,977,701	19,310,659	18,506,655	804,004
II 当期経常増減額(事業損益金額)		△ 1,061,191	1,906,296	845,105	△ 412,952	1,258,057

一般正味財産期首残高	5,707,482	6,120,434	△ 412,952
一般正味財産期末残高	6,552,587	5,707,482	845,105
III 正味財産期末残高	6,552,587	5,707,482	845,105

※ 付属明細書は、注記に記載、若しくは明細項目(引当金等明細)が無い場合、作成しない。

貸借対照表

貸借対照表
(平成30年12月31日) (単位円)

科 目	当年度	前年度	増減	
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金・預金	6,963,893	5,972,449	991,444	
貯蔵品	231,975	203,556	28,419	バッジ対価の使用待ち切手等
キャンペーン品	597,861	686,178	△ 88,317	キャンペーン用バッジ等の在庫を計上
未収入金	1,120	0	1,120	
仮払金	0	0	0	
流動資産合計	7,794,849	6,862,183	932,666	
2. 固定資産				
什器備品	3,000	3,000	0	
電話加入権	1	1	0	備忘価額
固定資産合計	3,001	3,001	0	
資産合計	7,797,850	6,865,184	932,666	
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	65,888	102,501	△ 36,613	後納郵便代
仮受金	293,375	244,201	49,174	源泉所得税預かりほか
流動負債合計	359,263	346,702	12,561	
2. 固定負債				
退職給与引当金	886,000	811,000	75,000	従業員退職引当(1人分)
固定負債合計	886,000	811,000	75,000	
負債合計	1,245,263	1,157,702	87,561	
III 正味財産の部				
一般正味財産 (正味財産期末残高)	6,552,587	5,707,482	845,105	
正味財産合計	6,552,587	5,707,482	845,105	
負債および正味財産合計	7,797,850	6,865,184	932,666	

※ 付属明細書は、注記に記載、若しくは明細項目(引当金等明細)が無いため、作成しない。

財産目録

財産目録 (平成30年12月31日現在)

(単位円)

科目	場所・物量等	使用目的等	当年度	前年度	増減	
(流動資産)						
現金・預金		運転資金として	6,963,893	5,972,449	991,444	
預金	普通預金 みずほ銀行町村会館出張所1		3,526,749	226,951	3,299,798	口座番号1784368
預金	普通預金 北洋銀行東京支店		2,298,090	1,321,426	976,664	口座番号0123000
預金	普通預金 北海道銀行東京支店		450,060	450,586	△ 526	口座番号0546136
預金	定期預金 北洋銀行東京支店		200,000	200,000	0	口座番号0008884
預金	定期預金 北海道銀行東京支店		100,000	100,000	0	口座番号0017317
貯金	郵便振替預金		388,994	3,673,486	△ 3,284,492	口座番号00170-0-44997
貯蔵品計		在庫として	231,975	203,556	28,419	
切手	事務所保管		205,591	148,902	56,689	バッジ対価の使用待ち切手
はがき	事務所保管		12,884	54,654	△ 41,770	
レターパック	事務所保管		13,500	0	13,500	バッジ等送付用
キャンペーン品計		在庫として	597,861	686,178	△ 88,317	キャンペーン用バッジ等の在庫
ブラウンリボンバッジ	事務所保管		118,964	152,476	△ 33,512	
千島桜バッジ	事務所保管		91,800	138,622	△ 46,822	
CD	事務所保管		87,720	88,400	△ 680	
新幹線バッジ	事務所保管		299,377	306,680	△ 7,303	
未収入金		会員会費収入ほか	1,120	0	1,120	ブラウンリボンバッジ未収入分
流動資産合計			7,794,849	6,862,183	932,666	
(固定資産)						
什器備品計			3,000	3,000	0	
絵画 西村計雄 「ハイデルベルヒ63」	事務所保管 (会議室展示)		1,000	1,000	0	
絵画 西村貴久子 「流水」	事務所保管 (会議室展示)		1,000	1,000	0	
絵画 岩船修三 「白鳥」	事務所保管 (会議室展示)		1,000	1,000	0	
電話加入権		備忘価額	1	1	0	備忘価額
固定資産合計			3,001	3,001	0	
資産合計			7,797,850	6,865,184	932,666	
(流動負債)						
未払金			65,888	102,501	△ 36,613	後納郵便代ほか
仮受金計			293,375	244,201	49,174	
年会費ほか (重複振込分)			52,000	0	52,000	会費・広告料重複振込分
源泉所得税			236,840	239,480	△ 2,640	源泉所得税
雇用保険ほか			4,535	4,721	△ 186	
流動負債合計			359,263	346,702	12,561	
(固定負債)						
退職給与引当金		従業員退職引当	886,000	811,000	75,000	
固定負債合計			886,000	811,000	75,000	
負債合計			1,245,263	1,157,702	87,561	
正味財産合計			6,552,587	5,707,482	845,105	
負債および正味財産合計			7,797,850	6,865,184	932,666	

※ 付属明細書は、注記に記載、若しくは明細項目（引当金等明細）が無い場合、作成しない。

キャッシュフロー計算書

キャッシュフロー計算書(間接法)

平成30年1月1日～平成30年12月31日

加算減算項目	計算項目	同左 加算減算
当期純損益金額 (当期正味財産増減額)	845,105	845,105
貯蔵品(増減)	28,419	△ 28,419
キャンペーン品(増減)	△ 88,317	88,317
未収入金(増減)	1,120	△ 1,120
仮払金 (増減)	0	0
固定資産 (増減)	0	0
未払金 (増減)	△ 36,613	△ 36,613
仮受金 (増減)	49,174	49,174
退職給与引当金(増減)	75,000	75,000
	キャッシュフロー	991,444

科 目	当年度	前年度
現金・預金	6,963,893	5,972,449

増減	991,444
----	---------

計算書類に対する注記

計算書類に対する注記

1 重要な会計方針ほか

- (1) 公益事業会計と法人会計（管理費用）に区分し損益計算書（正味財産増減計算書）を作成した。
- (2) 会費収入は、原則公益事業会計に配賦した。ただし、その50%を法人会計に配賦した。
公益社団法人北海道倶楽部会費規程
（会費の使途）
第6条 原則として、入会金及び年会費は公益目的事業に係る収益とするが、入会金及び年会費の総額の50%を限度に管理業務に必要な費用の額として管理業務に係る収益に充当する事が出来る。
- (3) 寄附金は公益事業会計に配賦した。
- (4) 下記科目は配賦基準により公益事業会計と法人会計に区分し配賦した。

科目	総額	公益事業会計 配賦額	法人会計配賦額	配賦基準	公益事業会計 配賦割合
入会金	105,000	52,500	52,500	公益収益割合	50%
正会員会費収入	2,520,000	1,260,000	1,260,000	公益収益割合	50%
維持会員会費収入	5,640,000	2,820,000	2,820,000	公益収益割合	50%
交流、キャンペーン等収入 総計	4,898,363	2,995,163	1,903,200		
交流、キャンペーン等収入 内 イベント会費等収入	4,758,000	2,854,800	1,903,200	公益収益割合	60%
交流、キャンペーン等収入 内 イベントバッジ等収入	140,363	140,363	0	個別配賦	100%
給料手当 総計	6,289,802	3,773,881	2,515,921	従事割合	60%
法定福利費	462,878	277,727	185,151	従事割合	60%
退職給付繰入額	75,000	45,000	30,000	従事割合	60%
外注費 総計	3,522,240	2,998,660	523,580		
外注費 広報紙等メディア関連分	2,998,660	2,998,660	0	個別配賦	100%
外注費 総会議案印刷等	523,580	0	523,580	個別配賦	0%
会議費 総計	123,523	55,337	68,186		
会議費 公益事業分	55,337	55,337	0	個別配賦	100%
会議費 理事会等法人会計対応分	68,186	0	68,186	個別配賦	0%
旅費交通費 総計	55,920	52,610	3,310		
旅費交通費 公益事業分	52,610	52,610	0	個別配賦	100%
旅費交通費 理事会等法人会計対応分	3,310	0	3,310	個別配賦	0%
通信費 総計	1,416,957	890,571	526,386		
通信費 公益事業分	764,321	764,321	0	個別配賦	100%
通信費 理事会等法人会計対応分	442,220	0	442,220	個別配賦	0%
通信費 公益・法人会計振分対応分	210,416	126,250	84,166	使用割合	60%
会合費 総計	5,097,855	3,326,266	1,771,589		
会合費 公益事業分	683,882	683,882	0	個別配賦	100%
会合費 法人会計対応分	10,000	0	10,000	個別配賦	0%
会合費 公益・法人会計振分対応分	4,403,973	2,642,384	1,761,589	対応の割合	60%
消耗品費 総計	353,379	193,851	159,528		
消耗品費 公益事業分	193,851	193,851	0	個別配賦	100%
消耗品費 理事会等法人会計対応分	159,528	0	159,528	個別配賦	0%
賃借料（事務所使用料）	133,441	80,065	53,376	使用割合	60%
雑費 総計	367,819	227,145	140,674		
雑費 公益事業分	227,145	227,145	0	個別配賦	100%
雑費 理事会等法人会計対応分	140,674	0	140,674	個別配賦	0%

- (5) 償却すべき固定資産はない。
- (6) 退職給付繰入額（退職給与引当金）は期末要支給額の100%を計上している。
- (7) 資金の範囲は原則流動資産と流動負債とする。なお、前期末および当期末残高は、下記2.に記載するとおりである。

2 流動資産・流動負債と差額

科目	当期末残高	前期末残高	期中増減
現金・預金	6,963,893	5,972,449	991,444
その他流動資産	830,956	889,734	△ 58,778
流動資産合計	7,794,849	6,862,183	932,666
その他流動負債	359,263	346,702	12,561
流動負債合計	359,263	346,702	12,561
差額	7,435,586	6,515,481	920,105
参考(固定資産・固定負債)			
固定資産	3,001	3,001	0
固定負債	886,000	811,000	75,000
差額	△ 882,999	△ 807,999	△ 75,000
正味財産合計	6,552,587	5,707,482	845,105

平成31年2月21日

公益社団法人北海道倶楽部
理事長 岡村 進殿

監査報告書

法令及び定款第23条に基づき、各監事は理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

平成30年度の事業、会計報告につき、諸資料、帳票、帳簿を詳細に調査いたしましたところ適法かつ適正であることを認めます。

理事の職務の執行は適法かつ適正に行われており、職務の執行において不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

公益社団法人北海道倶楽部
監事 五十嵐 紀男 ⑩
監事 鐵川 照夫 ⑩

平成30年度事業、会計報告につき、以上のとおり報告致します。

平成31年3月13日

公益社団法人 北海道倶楽部
理事長 岡村 進 ⑩

平成31年度事業計画書

平成31年1月1日から平成31年12月31日まで

種 別	概 要
平成31年度事業計画 1. 基本方針	定款に定められた公益事業の推進を着実に進行。
2. 管理分野の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会費収入の確保や寄附金の税額控除も活用し、公益事業の財源確保と収支健全化を目指す。 ・ 引き続き、公益事業のため、会員増に取り組むと共に、組織・制度の検討を続ける。(役員の改選期ではないが、安定した適切な事業執行体制の構築に対応する。) ・ 当法人の諸活動に関し、定款、基本方針、コンプライアンス等の見地から随時検討、調整に務める。 ・ 評議員会、部会の活性化とともに会員参加型事業推進の定着に務める。 ・ 北海道等の行政組織やボランティア、企業、団体などとのタイアップによる公益事業活動の充実に務める。
3. 公益事業の計画	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昨年度の公益事業実施の成果と反省を今年度事業推進に活かす。 ○ 「企業、団体とのタイアップによる公益事業の推進体制」を研究する。 ○ 下記分野ごとに部会で随時具体的な公益事業を企画し推進する。
広報活動	<p>(1) 北海道等のための広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北海道情報紙「北海道 NOW」(本紙・増刊号 年12回)を発行する。 ・ 引き続き、道内各自治体の紹介ページ(ふるさと納税なども紹介)を継続するとともに、増ページやさらなる拡充、HP版の発行の為の業務を続ける。 ・ 北海道のため「インフォメーションの頁」で北海道等(行政や各種団体)の広報を行う。 ・ 「北海道 NOW」の新聞折り込み配布やポスティングによる配布を行う。 ・ HPの活用や北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布を行う。 ・ 倶楽部の各種イベントでの北海道等のための広報活動を行う。
地域活性化事業支援	<p>(2) 北海道等が主催・共催・後援する地域活性化事業の支援活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「北方領土隣接地域振興対策根室地域協議会(北海道と根室地域1市4町で構成)」、「NPO法人 住んでみたい北海道推進会議(正・団体会員2百以上で構成)」など、北海道等から依頼される地域視察、地域振興、イベント等に協力する。
北方領土返還運動	<p>(3) 北方領土返還運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北方領土返還要求運動「ブラウンリボンバッジ」の頒布を行う。 ・ 北方領土返還要求運動のシンボル「千島桜バッジ」の頒布を行う。 ・ 北方領土返還森繁久弥作詞・唄「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」CDの頒布を行う。 ・ 北方領土返還の広報活動を情報紙「北海道 NOW」や各種イベントで実施する。 ・ 内閣府(含む倶楽部)などが実行委員会を構成している「北方領土返還要求全国大会」(2月7日、北方領土の日、例年総理大臣が出席)に参加する。

種 別	概 要
	<ul style="list-style-type: none"> ・根室市等が主催し全国 70 団体余が参加する「北方領土返還要求中央アピール行進」(12 月 1 日、銀座行進)に参加する。 ・北海道情報紙「北海道 NOW」(本紙・増刊号 年 12 回)、同紙の新聞折り込み配布、北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布、北海道フェア、交流イベントなど各種イベントや講演会などを通じて北方領土返還運動キャンペーンの広報活動や北方領土返還要求署名活動を行う。
ふるさと納税	<p>(4) 北海道等へのふるさと納税等寄付の推進運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度も広報活動・情報発信に活動の主体をおく。北海道情報紙「北海道 NOW」での道内自治体のふるさと納税の紹介、同紙の新聞折り込み配布、北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布、北海道フェア、交流イベントなど各種イベント他で北海道等へのふるさと納税等寄付の推進キャンペーン活動を行う。
新幹線早期実現	<p>(5) 北海道新幹線早期実現運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道新幹線早期実現運動「新幹線バッジ」の頒布を行う。 ・北海道情報紙「北海道 NOW」発行、同紙の新聞折り込み配布、北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布、北海道フェア、交流イベントなど各種イベントで北海道新幹線早期実現運動のキャンペーン・広報活動を行う。
北海道情報紙 講演会の開催 イベントの開催・参加	<p>(6) 上記各号の実施・推進にあたっては、下記の手法・方策等を総合的に適用し推進する。(一部重複・再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道情報紙「北海道 NOW」(本紙・増刊号 年 12 回)を発行する。 ・北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布を行う。 ・キャンペーン(北方領土返還・ふるさと納税・新幹線早期実現)をテーマに「新年交礼会」を開催する。(150 人規模) ・キャンペーンをテーマに夏に「交流の夕べ」を開催する。(100 人規模) ・キャンペーンをテーマに秋に「交流イベント」を開催する。(300 人規模) ・代々木の北海道フェア(例年来場者 40 万人)に参加し、キャンペーンのブースを出展し、北方領土返還要求署名活動(例年 1000 筆以上)に協力する。 ・「北方領土返還要求全国大会」(2 月 7 日、北方領土の日)に参加する。 ・「北方領土返還要求中央アピール行進」(12 月 1 日)に参加する。 ・北海道が主催する「ふるさと北海道応援フォーラム」を後援し、協力する。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・観光・食・環境問題・その他について、当倶楽部として今後実施すべき事業を検討する。

種 別	概 要	予定時期
別表 公益事業計画 時期別一覧表 イベント・交流会等は HPなどで会員外、一 般へ参加案内する 部会対応 キャンペーン等の内容 詳細は担当の部会で今 後検討し実施する。	新年交礼会開催 北方領土返還推進運動「ブラウンリボンバッジ」「千島桜バッジ」キャンペーン 北海道新幹線早期実現「新幹線バッジ」キャンペーン 「ふるさと納税推進」キャンペーン 上記キャンペーンの年初スタートを実施。	1月25日
	「北方領土返還要求全国大会」に参加（北方領土の日） 「北方領土返還要求中央アピール行進」に参加	2月7日 12月1日
	交流の夕べを開催 キャンペーン、北海道等の広報を目的とした夏の交流事業を実施。	8月2日予定
	代々木北海道フェアへ出展 代々木公園のイベントスペースに出展 キャンペーン・情報展示のためイベントに参加、情報展示イベントを実施。 情報紙「北海道"NOW"」別冊11万部発行、代々木中心に全国紙折込 （当倶楽部の公益事業、道内情報を広報することを主旨とするキャンペーンなど。北方領土返還要求署名活動など。）	10月 （10月3日～ 10月6日予定）
	交流イベント「We Love Hokkaido」の開催 （旧道産子の会） 会員、北海道関係者、北海道ファン、一般参加者300名、有料1万円 キャンペーン、公益事業の広報などを実施。	10月29日 火曜日 予定
	講演会、シンポジウムの開催 当倶楽部の公益事業と関連した講演テーマを検討する。一般も参加出来、無料 （講演テーマ、行政との協調などにより公共性のあるものとし、一般参加を呼びかける。）	未定（講師、 会場等のスケ ジュールによ る）
	情報紙「北海道"NOW"」の発行・配布 倶楽部の事業に係る広報のため、情報紙「北海道"NOW"」本紙・別冊（年 12回）を発行する。前年配布の成果を踏まえ、配布先・配布方法、編集内容、 発行体制を整備。一般配布（有料 月額80円）有り。 「北海道の市町村をご紹介」及び「北海道"NOW"information」を引き続き本 年も掲載する。	毎月
	北海道情報ラックに北海道情報を配布 引き続き北海道関連情報を設置先情報ラックに配布する。（無料配布）	毎月
	ホームページでの広報 倶楽部、公益事業の広報のため、内容の充実・更新に務める。	随時
	倶楽部内交流の同好会の活動に協力。（独立運営・独立会計、北星会（ゴルフ）、囲碁会）	随時

平成31年収支予算書

平成31年収支予算書		公益事業会計	法人会計	合計
・会費収入は法人会計に50%振り分けた。(会費規程第6条) ・給料手当、法定福利費、退職給付繰入額は従事割合(40%)により、法人会計に振り分けた。個別部門の給料手当は各個別部門で負担した。 ・イベント会場に支払う飲食・会場費及びイベント会費等関連収入は40%を法人会計に振り分けた。 ・通信費の内、電話及びインターネット費用は使用割合(40%)により、法人会計に振り分けた。他は各個別部門で負担した。 ・賃借料は使用割合(40%)により、法人会計に振り分けた。		[K]公益事業総合(合計)	[T]公益・法人総計(共通)	[T]公益・法人総計(合計)
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
経常 収 益 (収 入)	(1) 経常収益 [収入]			
	受取会費 (入会金)	50,000	50,000	100,000
	(正会員会費収入)	1,252,500	1,252,500	2,505,000
	(維持会員会費収入)	2,820,000	2,820,000	5,640,000
	事業収入 (広告収入)	1,977,263	0	1,977,263
	(交流、キャンペーン等収入)	2,992,343	1,903,200	4,895,543
	受取寄付金 (寄付・協賛金)	2,925,000	0	2,925,000
	受取利息	0	78	78
	雑収入	0	5,594	5,594
	経常収入計 (収入高合計)	12,017,106	6,031,372	18,048,478
経常 費 用 (事 業 費 ・ 管 理 費)	(2) 経常費用[事業費・管理費]	事業費	管理費	
	給料手当	3,786,992	2,524,661	6,311,653
	諸謝金	90,000		90,000
	法定福利費	271,607	181,071	452,678
	退職給付繰入額	45,000	30,000	75,000
	外注費	2,998,660	63,500	3,062,160
	荷造運賃	189,095	0	189,095
	広告宣伝費	1,006,862	0	1,006,862
	会議費	33,305	63,002	96,307
	旅費交通費	50,510	6,720	57,230
	通信費	950,773	345,021	1,295,794
	会合費	3,348,298	1,771,589	5,119,887
	消耗品費	195,274	151,038	346,312
	事務用品費	0	0	0
	新聞図書費	105,888	0	105,888
	諸会費	0	0	0
	賃借料	80,065	53,376	133,441
	租税公課	0	0	0
	雑費	271,849	167,413	439,262
経常費用計 (事業費・管理費計)	13,424,178	5,357,391	18,781,569	
当期経常増減額 (事業損益金額)		-1,407,072	673,981	-733,091
当期一般正味財産増減額 (当期純損益金額)		-1,407,072	673,981	-733,091
一般正味財産期首残高				6,440,573
一般正味財産期末残高				5,707,482
III 正味財産期末残高				5,707,482

公益社団法人北海道倶楽部 平成30年度定時会員総会招集通知

正会員、維持会員 各位

公益社団法人北海道倶楽部
代表理事 理事長 岡村 進

公印省略

平成30年度定時会員総会を下記の通り行いますので、お忙しいところ恐縮ですがご参集下さい。

記

開催日時：

平成31年3月13日12時30分より（約1時間の予定。12時10分開場。昼食の用意はありません。）

開催場所：

永田町ほっかいどうスクエア2階会議室（北海道倶楽部事務所の2階、貸会議室なので開場前に入れません。少々手狭です。）
千代田区永田町2-17-17、03-3581-4021（北海道倶楽部の電話番号）

議事に付すべき事項：

別紙「平成30年度定時会員総会 議案」の通り。

議決権行使会員：

会員総会の議決権を持つ会員は、「正会員」及び「維持会員」で、各1個の議決権を持っています。
（登録会員は議決権はありませんが、維持会員として、維持会員の議決権行使書を持参し、議決権を行使することが出来ます。）

議決権行使方法について：

議決権は、議決権を持つ「正会員」及び「維持会員」が下記の方法により行使して下さい。

1. 「会員総会出席による議決権行使」
2. 「委任による議決権行使」（欠席で「委任による議決権行使」欄が無記入の場合は議長に委任したものとさせていただきます。）
3. 「事前の議決権行使」

いずれも、招集通知に同封した【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】（はがき）に記入の上、「郵送」、「FAX」、又は「スキャンしたものをメールに添付」の方法でなるべくお早めに（8日まで、遅くとも総会開催まで）北海道倶楽部宛に送付して下さい。

会員総会の招集通知は北海道倶楽部に登録された会員（社員）の住所地に送付しています。招集通知に同封した、【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】（はがき）の用紙（右欄参照）を使って倶楽部宛に送付されたご連絡は会員の真正な意思表示とさせていただきます。

1. 会員総会出席による議決権行使：

会員総会出席者は原則として「議決権行使書と議案（本書）」を持参の上、会員総会に出席し議決権を行使する。

2. 委任による議決権行使：（定款第18条第2項）

招集通知に同封した【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】に印刷された【委任による議決権行使】欄に記入の上、北海道倶楽部宛に送付する。

受任者は原則として議決権行使書を持参の上、会員総会に出席し議決権を行使する。

3. 事前の議決権行使：（定款第18条第1項）

招集通知に同封した【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】（はがき）に印刷された【事前議決権行使】欄に記入の上、北海道倶楽部宛に送付する。

【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】

（下記□にチェックを入れ至急送ってください。）

未記入の場合議決権行使を議長に委任するとさせていただきます。

【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】

- 出席 →（議決権行使書と議案をご持参ください。）
欠席（委任もしくは事前議決権行使）

【委任による議決権行使】（記入がない場合は議長とします。）

- 議長に委任する。
議決権行使書持参者に委任する。

▼出席、委任されない方。

【事前議決権行使】（“否”の場合のみ下記□内に×をご記入ください。）

第1号議案—●承認事項

- 損益計算書（正味財産増減計算書）
貸借対照表 財産目録
キャッシュフロー計算書
計算書類に対する注記

平成31年3月13日（正会員・維持会員のID、お名前、ご担当）

（ID-12345678 正会員 又は 維持会員）

正会員名 若しくは 維持会員名

及び維持会員のご担当者名

至急送付ください。3月8日必着をお願いいたします。この葉書を「郵送」、「FAX」又は「スキャンしメールに添付」してください。

NO. 123

公益社団法人北海道倶楽部（TEL:03-3581-4021）

郵送先：〒100-0014 東京都千代田区永田町2丁目17-17

FAX先：03-3581-4022

mail：hkkl-clb@soleil.ocn.ne.jp